

第6学年 家庭科

まつさかしりつまつえしょうがっこう
松阪市立松江小学校



【学習目標】

- 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要で基礎的なことを理解し、それらに係る技能を身に付ける。
- 日常生活の中から問題を見つけ出し、課題を設定し、様々な解決方法を考え、表現することができる。また、その実践を評価、改善するなどの課題解決力をつける。
- 家庭生活を大切にすることをもち、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくするための工夫をしようとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「わたしたちの家庭科」	(開隆堂)
副教材	エプロン	(新学社 日本標準 あおば ぶんけい)

持ち物		
教科書	ファイル	裁縫セット

【学習の約束】

- 積極的に発表して、考えを伝えあいましょう。
- ワークシートは、学習内容、気づいたこと、これからの生活に取り入れたいことなどを工夫して書きましょう。
- 安全に気を付けて作業しましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

【学習内容】

前 期	後 期
1. 生活時間をマネジメント 2. できることを増やしてクッキング 3. クリーン大作戦で快適に 4. 衣服の手入れで快適に 5. すずしい住まい方で快適に	6. ソーイングで生活を豊かに 7. こんだてを工夫して 8. 共に生きる地域での生活 9. 持続可能な社会のために ※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。

【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
技能・知識 ・ わかる・ できる	衣食住について基礎的な知識・技能を理解し、身に付ける。	発言・発表 授業の様子 単元テスト ワークシート エプロン
・ 思考・ 表現・ 判断	日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決する力を身に付ける。	発言・発表 授業の様子 単元テスト ワークシート
取り組み 主体的に 学習に 態度	主体的に家庭の学習にとりくむ。 ・技能習得に根気よく取り組む。 ・学習したことをふまえて、家庭でも実践しようとしていたり、家族や地域の人々との関わりをよりよくしようと試みたり、次の課題を考えようとする。	発言・発表 授業の様子 ふりかえり ワークシート